



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第182号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2011年1月13日発行

編集・発行：情報委員会

POSITIVE AGING

2010～11年度テーマ 「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します

第182回例会・臨時総会

日 時：平成 22 年 12 月 9 日(木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：63 名 出席率 93%

(会員総数 68 名、休会 0 名)

1. 開会 東山例会委員長の司会

本日は自由席、ナツメロのバックミュージックにのせて、年末例会を理由に開設された「ワンコインドリンクバー」に列ができ、食前酒を楽しんでからの会食、ハッピーコインの披露での笑いと拍手など、演出よろしく、結果は堅い臨時総会も楽しく決議された。

2. 会食・ハッピーコイン披露・バースデー報告



杉山会長から、ハッピーコインの披露(詳細: 3 頁 21 件)に続き、12 月のバースデー報告が行なわれた。

今月は、写真；向かって左から飯田富美子、宮城安子の 2 名の会員に、池田ときえ会員手作りの美しいバースデーカードが贈呈された。

3. 臨時総会 会長挨拶

これより臨時総会を開催いたします。本日会員ボックスに創立 15 周年記念誌が配布されました。これを拝見致しますと 184 頁となっており、15 周年の行事も中に加えて大きな作品になりました。参考までに 5 周年誌は 70 頁、10 周年誌は 162 頁であります。

この 15 周年誌をもって、15 周年の総ての記念行事は終了致しました。ここに改めてご尽力いただきました総ての会員の皆様に厚くお礼申し上げる次第であります。



議事 恒例により議長に杉山会長が選出され、書記に土井俊雄会員、議事録署名人に大野幸二会員、有泉裕子会員を指名、以下の議案を審議した。

第 1 号議案 クラブ創立

15 周年記念事業決算書(案)につき同記念事業事務局長佐々木研吾会員より議案説明があり、次いで同記念事業会計監査人、浅川文夫会員ならびに増田由明会員の監査報告書に基づき、代表して浅川文夫会員より「正確かつ適正である」との報告がなされた。

質疑に入り、特に意見なく、本案につき採決を求めたところ、挙手により賛成多数で可決承認された。

第 2 号議案 第 15 回生涯学習サロン特別会計予算書(案) 地域奉仕委員長下田泰造会員より提案説明があり、質疑に入り、特に異議なく、原案どおり挙手により賛成多数で可決承認された。

(以上をもって臨時総会は終了した。)

4. 例会挨拶 杉山会長

これより例会を行います。私からは 2 件お願いがあります。1 つは、この後ご案内の澤渡幹事から地域奉仕活動のプラスワンプロジェクトの報告がございます。どうかじっくり聞いてご理解頂きたいと思います。

次に、ただいまサロンの予算が成立しました。これを受けて、いよいよ生涯学習サロンが開始されます。成功に向けて地域奉仕委員会へのご協力を切に宜しくお願い致します。

5. 幹事報告 澤渡幹事

(1)プラスワン プロジェクト進捗状況報告

今年度の会長方針により「未来ある子供たちに

プロバスらしい奉仕活動」を実施するという課題に取り組み、8人のメンバーにより8月から6回の会議が開かれました。今回はその第1回の報告を致します。



討議の状況は、15周年事業で「宇宙への未来の夢と努力と」をとりあげており、子供たち・宇宙・理系教育への取り組みは、地域（八王子）においてその必然性が認められるとし、「宇宙の学校」八王子校の開設を仮題として、実施の可能性を追求しました。

「宇宙の学校」は、KU-MA「宇宙の学校」として全国的に組織化され、各地で実施されているため、カリキュラム、教材、講師派遣など先行資料が揃い、取り組みやすくなっています。

また7月に実施した会員へのアンケートによる意見を踏まえ、当クラブの人的、経済的な面での検討も行いました。

さらに市の教育委員会、こども科学館の支援協力の可能性も、好感触が得られております。

よって、現状2011年10月開講とし、親子50組（計100名）を1校とし、初年度1～2校のテスト的開校を目標に、検討を進めています。

(2)報告事項

①11月は野外例会、談論風発、いちよう祭りと盛沢山の企画でしたが担当委員会、会員の皆様のご協力で執行部の意図することができました。

②15周年の記念誌が完成し配布されました。矢島リーダーを始め、編集担当の方々、原稿を提供して下さいました総ての方々にお礼申し上げます。

③高瀬謙輔会員が一身上の理由で今月、退会することになりました。

④市役所の八王子駅南口総合事務所（サザンスカイタワー4階）で市民企画事業補助金を受領した団体の活動を紹介する資料展示会が12月13日から20日まで開かれます。当クラブも参加いたします。

6. 委員会報告

(1)例会委員会 東山委員長

出席状況報告（前記のとおり。）

(2)情報委員会 吉田委員長

今月の「プロバスだより第181号」は宮田正実会員の編集です。宮田会員はホームページ担当で情報処理のプロフェッショナルです。

(3)会員委員会 川村委員長

会員動向は前期を終り、入会2名、退会2名で期初の67名に戻ってしまいました。年末年始の活動で是非、ふさわしい方を推薦願います。

(4)研修委員会 土井委員長

先月の談論風発の会に多数参加、お礼申し上げます。これを機により発言しやすい会にして、会員相互の理解を深めていただきたい。

(5)地域奉仕委員会 下田委員長

「第15回生涯学習サロンへのお誘い」に基づき、希望テーマ調査票の提出をお願いします。

(6)交流担当 山崎理事

15周年記念式典に参加頂いた20クラブに



15周年記念誌を送付し好評を賜りました。

全日本の副会長である立川会員より「全日本プロバスクラブ協議会：もろもろの動き」が配布され、他クラブの活動状況の紹介が

ありました。

7. 同好会活動報告

(1)お茶の会；特になし

(2)ゴルフ同好会；特になし

(3)歴史の会；11月30日の秩父路散策に多数ご参加有難うございました。なお1部コースの変更が発生しましたがご容赦下さい。

(4)写真の会；特になし

(5)囲碁の会；特になし

(6)麻雀クラブ；12月22日に開催し、忘年会をも兼ねて実施致します。

8. その他報告 退会挨拶：高瀬謙輔会員



プロバスでは例会など、様々な活動を通じ、多くの事を学ばせて頂きました。また、学習サロンでは東シナ海の石油開発の話をして頂き、歴史の会やバス旅

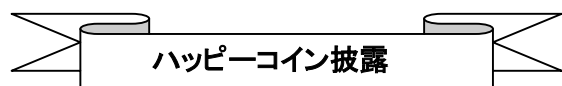
行、麻雀やゴルフの会で交流を持たせて頂き、数々の思い出をつくることができました。

皆様方には大変お世話になり有難うございました。

9. 閉会の挨拶 佐々木研吾副会長

これで杉山年度の前半が終わりますが、我々は立派な掛け替えのない仲間とともに、15 周年事業をはじめ多くの課題で活動しました。

新年もいろいろと企画がありますので素晴らしい年になるよう頑張りたいと思います。



◆手足のしびれにより秋の大事な行事に参加できず皆様に大変ご迷惑をおかけしました。9 月 21 日頸椎狭さく症の手術を受け徐々に回復しつつあります。来年は希望のもてる年になることを願っています。

橋本晴重郎

◆嬉しいことが二つです。①娘が女兒を出産しました！私の初孫で、干支も同じ寅年です。また、亡き父と同じ 12 月、浅草界隈生れというのも不可思議です。②12 月 9 日の例会と同じ時刻に、都立駒込病院のクリスマスコンサートで歌います。直腸癌手術以来 4 年、久しぶりの主演です。奇しくも初孫が生れ、キリスト誕生の讃美歌を歌える幸せに感謝しています。

山形忠顯

◆この 1 年充実した“プロバス”人生に感謝。

浅川文夫

◆寅年さん、サヨナラ、再会はどうでしょうか。

古川純香

◆皆さまのなさけで麻雀優勝。

山崎修司

◆中 2 の孫娘が東京都中体連テニス都大会にて女子ダブルス優勝。高 3 の孫娘が、四大の難関学部へ推薦入学決定、ジジババ大喜び。

土井俊雄

◆「いちょう祭」へのご協力有難うございました。いろいろ不備があり、ご迷惑をおかけしましたが、全体としては好天にも恵まれ、34 万人の来客があり盛況でした。

佐々木研吾

◆今年も残りわずかになりました。元気で素敵な趣味ができ、また仲間との旅行を楽しみ過ごせたことに感謝して！

有泉裕子

◆麻雀で 2 回の賞を取る。前回はトップであった

が、今回はブービー賞であるが、賞を頂けるということはハッピーである。

荻島靖久

◆国立博物館の「東大寺の至宝」を見て来ました。八角燈籠を始め、数々の仏像、感動の連続でした。

中野義光

◆酒は程ほどに飲むべし。過日、酒を飲み過ぎ、転んで頭を打ち、救急車にて東海大学病院に厄介になりました。幸い大事にはならず済ませることが出来ました。その折にお世話になりました方々に感謝しております。

宮崎浩平

◆八日間イタリアツアーに行ってきた。珍しくありませんが、久しぶりなのでハッピーでした。

下山邦夫

◆この度の私の個展には大勢の皆様におでかけ頂きまして有難うございました。土器を描くことで、縄文時代への考古学的関心が芽生え、楽しみがひとつ増えました。

池田ときえ

◆「古い支度」がととのいました。マンションを売り新しい所に引越しました。最老後スリムにスローに生きます。

立川富美代

◆第 31 回いちょう祭り開催につきましては P B クラブの皆様方のご協力をいただき事故や怪我も無く無事に終了でき、お陰をもちまして 2 日間の来場者数 338,000 人でした。警備委員長として厚くお礼申しあげます。

岡本宝蔵

◆誕生日 めでたさも中ぐらいなりおらが暮れ

飯田富美子

◆今年毎日 1 万歩あるくことを目標にしておりましたが 11 月中に 365 万歩を達成いたしました。万歳！

野口浩平

◆孫の高校コーラス部と卒業生コーラスとの合同合唱祭が三鷹芸術会館で行われ聴きに行きました。素晴らしい合唱でした。

高取和郎

◆今年は 15 周年、談論風発、いちょう祭り、皆様有難うございました。来年はいよいよメインイベントの生涯学習サロン、皆様のご多幸とご活躍をお祈りします。

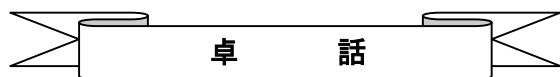
澤渡 進

◆第 15 回生涯学習サロンの案内書が完成しました。事業の成功にむけてお力をお貸し下さい。

杉山友一

◆退会ご挨拶：今後は一市民として学習サロンなどに参加させて頂く所存です。

高瀬謙輔



病院のことあれこれ

～ 医師との良き関係 ～

久野久夫



我が国の予算に占める医療費の割合は、高齢化や医療技術の高度化が進んだことで年々増加の一途を辿っています。

一方、その医療費を賄う歳入は長引く不況・少子化等によって伸び悩んでいます。このような状況を踏まえ国（厚生労働省）は限りある医療資源の有効活用を図るべく種々の施策を行ってきました。

その一つとして病院を機能別に分類し、その病院毎にもつ機能に相応しい医療を提供しようというものがあります。

わかり易く一言でいうと、高度かつ難度の高い医療を必要とする患者と風邪ひき等の比較的軽症の患者の受入れをする施設を分けることで、それぞれが有する機能を十分に引き出そうとするものです。しかしながら我が国では以前から患者の大病院指向という傾向が強く思うに任せないのが実情です。この状況を打開すべく厚労省はある種の経済誘導を行っています。つまり軽症患者が大病院での受診をしにくくする(?)ため医療保険で定められた診察料に加え、各施設で定めた初診料を別途徴収するように指導しているのです。このためただでさえ長い診察待ち時間に加え費用負担も増える結果となります。

一方、高度な医療サービスを受けざるを得ない患者については、開業医等の医療情報（紹介状）を持参させることで前述の追加費用を減免すると共に、検査等の重複を避けるなどスムーズな受診を可能にさせる工夫をしています。

このような流れの中で重要な役割を果たすのが所謂“かかりつけ医”です。何でも気軽に相談でき、必要があれば然るべき医療機関を紹介してくれる、適切なアドバイスをしてくれる“近所のお医者さん”です。是非このよう“なにかかりつけ医”を持ちたいものです。また、院外処方が普及

した昨今では、同じ意味でかかりつけ薬局（薬剤師）を決めておくことも重要です。

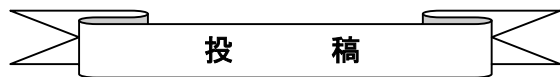
医師との関わりにおいて最近よく耳にする言葉でインフォームドコンセントというものがあります。日本の医療現場ではこの言葉は「説明と同意」と訳されています。つまり医師が患者の病気やその治療法等について説明し、患者がそれを理解し、受け入れの同意をするということでしょうか。しかし、厳密には患者は自分の病気とそれに伴う医療行為について知りたいことを“知る権利”があり、治療方法等を“決定する権利”を持つこと、つまり自分のことは自分で決める「自己決定権」を持つことを意味します。

しかしながら日常の医療現場においては、未だその概念が必ずしも浸透しておらず“受け身”の患者が多いのが実情です。あまり色々なことを聞くと先生に失礼になるのでは、嫌がられるのではとの気持ちが働くのですが、医療側には患者が思う程その感覚はなく、その事で患者が不利益を蒙ることはほとんどありません。ひとつしかない自分の身体のことです。遠慮なく気後れすることなく解からないこと、疑問のことを聴き、それに対する十分な説明を受けた上で自己決定をすることが肝要です。

医学が進歩した今日では、一つの病気でもいろいろな治療法があり、医師によって方針が異なることが少なくありません。また、一つの治療法では限界がある場合、いくつかを併用した「集学的治療」も行われます。さらに、医療には「絶対治る」という保証がなく、どんな検査や治療にもリスクが伴います。このような状況では、最初に診察した医師の考えだけでなく、複数の医師の意見を聞いて、患者自身の事情や価値観に最も適した治療法を選択することが非常に大切になります。

このように他の医師の意見を聞くことがセカンドオピニオンです。ただしセカンドオピニオンをとるかどうかは患者自身が選択することです。

前述したように“こんなことを聞いたり、他の医師の紹介を依頼するのは・・・”との懸念、躊躇は無用です。もしこのことに非協力的であったり機嫌を損ねる医師であれば、患者にとって本当に信頼に足るかを考えられたら如何でしょうか。



私の仕事史 -2-

竹内 賢治

(175号より続く)

①「日本の合成繊維産業」

1950年～60年代に合成繊維の発展期に突入し、次々と新しい合成繊維が開発され、北陸の織物産地ガチャマン時代が終わり、新しい時代へと進むことになった。



東洋レイヨン（現東レ）に続き、日本レイヨン（現ユニチカ）のナイロンから始まり、ナイロン6社（東レ・ユニチカ・帝人・東洋紡・旭化成・カネボウ）ポリエステル8社（東レ・帝人・ユニチカ・東洋紡・旭化成・カネボウ・クラレ・三菱レーヨン）等乱立がらみで、1950年後半から60年代に北陸産地は大きな成長をはたした。

石川県の投資額は280億円で、生産性向上と高付加価値も求めることとなり結果的には相当部分が失敗に帰したと云えるでしょう。大手傘下企業場への保証行為での投資をするとき、能登地区の中小機業場から国の事業だから我々にもとの要求には断り続け大変恨まれたこともありました。（大手の社長は工場敷地内には自宅がなく失敗したときは経営者が代わって対処するが、小機業場は大きな負担をすべきでない、投資に失敗したときは夜逃げ状態になりますよ）

これらの機業場には数年後、中近東地域向け輸出品種への切り替え時に設備の更新を果たしました。

石川県繊維課を通した、通産大臣認可で資金の貸し出しが実行されますが、某機業場に投資をするに際し、人様には云われない事情があり当社の保証無しで投資をおこないました。しかし、予測したことが起き5ヶ月分の返済後、石川県に、当該社は事業に失敗しました、これ以上続けると、国や他人に迷惑を掛けることになります。国からの借入金を繰り上げ償還させて欲しいと申し込んだ処、「あなたは石川県でヒヤリングをしましたね、それをもとに、通産大臣が承認したものに

は失敗はないのです」と償還を認めてくれませんでした。押し問答の末、傘下機業場の下請け企業場への分散投資で切り抜けたこともありました。

機業場は構造改善組合員となり、借入業者相互の連帯保証が義務付けられました。それ故商社・メーカーの保証が求められたのでした。

メーカーは設備産業であり、産地は労働集約産業で、時の後進国に委ねる産業でしょう、日本の紡績産業もかつては、「ランカシャー」から持ち込んだことを思えば今日の日本の繊維産業の姿はそのときからあったことと思われます。時代の流れに沿い、政府の云うことが本当に正しいかは自己責任で判断することだと思つづく考えさせられことが多々ありました。

設備産業は規模が大きくなり大量生産されればコストが下がりますが、一方の産地は労働集約産業ですから、原料を仕入れて製品を生産している間に、工場在庫分は常に金銭価値が下がっています。北陸の織物・ニットは委託加工に徹して居たことでその被害は微傷でしたが、婦人靴下（パンスト）の業界は最大の被害者ではなかったかと思います。（つづく）

第19回歴史を肴に語ろう会

「晩秋の秩父路散策」

代表幹事 土井俊雄

紅葉は時季遅れと思っていた11月30日、ところどころで見事な場面にぶつかり気持ちが高揚しました。

鉢形城跡 現在鉢形城跡は、公園形式で管理されており、城の中心部は荒川と深沢川に挟まれた断崖絶壁の上に築かれていて、天然の要害をなし



ています。平城にもかかわらず鉄壁な守りは、甲斐・信州からの

侵攻への備えとして重要な役割を担っていた。築城は、1476年（文明8年）関東管領であった山内上杉氏の家臣長尾影春が築城したと伝えられ

ています。

1590 年（天正 18 年）豊臣秀吉の小田原攻めの際には、後北条氏の重要な支城として、前田利家・上杉景勝等の北国軍に包囲され激しい攻防戦を展開し、1 ヶ月余りに及ぶ籠城の後、城主北条氏邦は城兵の助命を条件に開城しました。

我々は、鉢形城歴史館を見学した後、ボランティアに案内されて、土塁・各種曲輪・搦め手等を実地に歩き見学した。最後の城主である氏邦は、秀吉との一戦の際、小田原の重臣たちに、城を出て戦おうという主戦論を訴えたが、その意見は入れられなかったとのことでした。



和 銅 遺 跡

鉢形城を後にして約 40～50 分和銅採掘跡地の近くの県道脇にマイクロバスを

止めて、山道を登ること 10 分程度で「和銅モニュメント」に到着、しかし露天掘り跡とか、採掘跡地コースは、一通り巡るには、約 10 キロの道のりを 3 時間 30 分かけて歩く必要があり、雰囲気だけは味わって戻ることにした。

秩父神社と祭り会館 秩父祭りを 2 日後に控え町は活気にあふれていました。秩父神社を中心にした地域の道路は電線を地中に埋め、八王子のように美しい景観が見事でした。本日、祭り会館は、休館日で山車や祭りのデコレーションは見えなかったが、知知夫国の総鎮守「秩父神社」の宮司さんが、神社の屋根下部の彫り物（つなぎの龍・子宝・子育ての虎）など左甚五郎作といわれる彫り物について流暢に説明をしてくださった。

吉田の龍勢会館 本日龍勢会館も休館日で傍らの龍勢茶屋で、昼食を摂りました。

古式の食事に戸惑いもあったと思いますが、牡丹餅は好評のようでした。

大滝栃本関所跡・滝沢ダム 最後の 2 ヶ所のうち栃本関所跡については、険しい山また山の細い道を縫うようにして長時間走った後、関所近くのトンネルの高さ制限でバスが通れず、引き返すことになりました。

つぶやき

●地デジに移行まであと 8 カ月（2011 年 7 月 24 日アナログ放送終了）、地デジ受信完了世帯は全国で約 70%とのこと。残り 30%の世帯の方、早く手立てを完了しないとテレビが視聴出来なくて大変な事になりそうですよ・・・。

スカイツリータワー（643m）が完成するまでに東京タワーより現状のままアナログ放送を続けるとか？と言ううわさがありますが、サテサテ実際はどうでしょうか？

何れにしても早い手立てをしたほうが賢明だと独りつぶやいています。（HO）

●今はやりのツイッターって何？携帯メールのおしゃべり？パソコンでのおしゃべり？誰と？聞くとところによると 1 件ツイットすると、たくさんの仲間一度に届くとか。何の為だか年寄りには不思議で仕方がない。話したければ電話でおしゃべりすればいいと思うのは時代遅れか。不特定多数に連絡することなどあるのかなと不思議そのもの。会話を楽しめないのかな。

あるとき打ち合わせをしていた時、若い（といっても 50 代か）男の人が会議の最中に携帯片手に話の合間に携帯を開く。何してるのかと聞くとツイッターが入るか見ていると云う。そしてその上返事まで書いている始末。オイオイ今は何の時間だよー。無礼な態度も限界があり、だまってみていられない。会議が終わるまで携帯しまっておけ、と云ったら時代遅れだなあと言われた。

この「つぶやき」コーナーがツイッターと同類と聞いたけど、少なくとも人前でパタパタ携帯を開け閉めしないだけましだと思ったけど。（FT）

●寝室を出るときから、今日は自分が死ぬ番であると心に決めなさい。その覚悟があればものに動じることはない。本来侍とはこうあるべきだ（藤堂高虎家訓第一条）。侍精神に学ぶ。（TS）

編集後記：久々の編集で気がついたことは記事の多さです。数年前は全 4 頁をどうやって埋めようと毎月悩みました。クラブが活性化しているのでしょうか、投稿も多くどうやって圧縮するか今回は苦心しました。

荒 正勝